

ごあいさつ

学校長 森元 弘毅

この度は、男鹿工業高等学校ホームページにアクセスしていただき、ありがとうございます。令和7年度、本校第20代校長として赴任いたしました森元と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本校は、昭和56年に地域産業の発展に寄与する技術者の育成を担い、ここ男鹿の地に誕生し、爾来創立45年目を迎えます。卒業生は六千二百名を超え、県内はもとより国内外の産業界において第一線で活躍されています。

現在、機械科、電気電子科、設備システム科の3つの小学科から構成されており、各学科1クラスずつの計9クラスです。令和7年度は、60名の新入生を迎え、全校生徒195名でスタートしました。

校訓は「創意実践」です。これは従来の考え方や方法を簡単に受け入れるのではなく、常に考察し、新しい手法や独創的な考えを見つけ出し、それを自分のものとして実践してみるということです。この校訓のもと、ものづくり教育を通じて、主体的に取り組む態度や創造性、集中力や忍耐力、協調・協働の精神等を身に付けた技術者を育成することを目指しています。

そして、本校での教育活動を通して、工業に関する知識や技能を伸ばし進路実現を図るだけでなく、学校行事や部活動にも意欲的に参加し、仲間との友情や絆を深め、生徒同士が優れた個性や資質・能力を磨き高め合うことができる学校でもあります。

進路指導においては、「進路達成100%」を目指して様々な取組を行っており、本人の希望や適性に応じて、地元企業・全国の一流企業・公務員、大学・短大・各種専門学校まで、多種多様な進路と夢の実現が可能です。

部活動では、全国大会に出場しているラグビー部・空手道部を筆頭に、日々明るく元気に活動しています。それ以外にも、難関の国家資格である「第3種電気主任技術者」試験に合格する生徒、秋田県立大学主催の3Dデザイン&プリントコンテストで最優秀賞を獲得する生徒を輩出するなど、工業の専門性にかかる分野においても顕著な成果を出しております。

さて、本校では急激に変化する社会に対応するため、この4月に男鹿地区統合校開設準備事務局が設置され、男鹿地区統合校の開校にむけた検討が本格化します。このように、本校をめぐる教育環境が大きく変化する中で、校訓「『創意実践』挑戦する男鹿工業生～変化を進化に！～」を道しるべに、いまこそ困難な時代に挑戦し、「変化を進化に」転換する気概をもって、本校の教育活動を推進していく覚悟です。

これからも様々な教育活動を通じて、地域・保護者・同窓生の皆様のご協力を得ながら、地域社会や産業界に貢献できる人材の育成を目指してまいります。

関係各位の力強いご支援をよろしくお願いいたします。

令和7年4月18日